

やなせの森



信頼と安心の“やなせ苑”
Trust and Peace of mind Yanaze-en

特別養護老人ホーム
やなせ苑

広報情報委員会

〒939-1313 砺波市柳瀬3
TEL (0763) 32-3050
FAX (0763) 32-6543
<http://yanaze.org/>

題字 砂田 順一氏



10月 柳瀬の獅子舞にて

目次

CONTENTS

- 特集「認知症について考えよう」 p.2~3
- 思い出アルバム p.4~5
- 「子育てサポート企業」に認定されました
「介護教室」開催のご案内 p.6
受賞おめでとうございます
ボランティアさん募集・寄付・編集後記

ご挨拶

特別養護老人ホームやなせ苑 新理事長 太田 勇二

このたび四月一日から、前理事長加藤清和氏の後任として理事長の大役を拝命いたしました。

さて、当やなせ苑は、平成三年四月開設以来、昨年満二十歳という成人の年を迎え、その間入所者の定員の増床、介護保険制度の導入に伴う入所措置から契約への福祉サービスの変更、施設設備の拡充等に努めてまいりました。その過程には先輩諸代並びに役員のご苦労があり、やなせ苑は今日の砺波広域圏の中核的な介護福祉施設として、高く評価されました。この歴史を振り返り、引き続き当法人の伸展のため、微力ながら力一杯つくりたいと思っております。

平成二十四年度からは、市民の強い要望もあり、ショートステイ（居宅サービスの一つで、一時的に要介護者を預かり、家庭の介護負担の軽減を図る事業）を増床する施設整備計画に取り組みたいと思っておりますので、どうぞ役員並びに地域の皆さまのご協力、ご支援をお願いいたします。今後、利用される方々に安心して任され、信頼される施設として、役員一同が丸となって、二層精進を重ねたいと思っております。皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

認知症について考えよう

介護をされている方々の多くが悩んでおられるであろう、「認知症」。ここでは、認知症介護についての基本的なポイントを紹介したいと思います。やなぜ苑で実際に行われている対応なども紹介しておりますので、在宅で介護されている方々の参考になれば幸いです。

1 相手の世界を大事にする。

否定せず、共感の姿勢を持つということは、認知症介護のもっとも基本的なことだといえます。

まず最初に問題となってくるのが、認知症の方とのコミュニケーションではないでしょうか。よく聞かれるのが、「会話にならない。」という悩みです。

A「〇〇さんどこ、行ってこんなん。」
 B「〇〇さん、もう亡くなられたないけ。」
 A「何ゆうとんがけ。もうそこに来とられるがいぜ。」
 B「どこ行くがけ。危ないからやめて!!」
 A「何すんがけ!! 私ダラにして。」

……このような会話を経験された方も多いのではないのでしょうか？

ここでは、まず亡くなられた〇〇さんが、「本人にとってはまだ生きている」という現実があります。これは、本人にとってはまぎれもない現実であり、それを否定しても納得されることはありません。馬鹿にされている、と思うかもしれません。



本人の世界を、肯定してみましょう。



「〇〇さんどこけ？何の用事やった？」
 「〇〇さん、さっき来てかれて、もう帰られたぜ？」

もちろん、その世界の中で「ここにおいてほしい。」などのこちらの要求を達成するには、嘘をつかなければいけなくなるでしょう。なかなか堂々と嘘を言うのは、抵抗があるものです。

しかし、たいていこういった状態の方は、自分の世界を否定されることで不安感を増大させたり、混乱したりするものです。もちろん、その世界の中で「ここにおいてほしい。」などのこちらの要求を達成するには、嘘をつかなければいけなくなるでしょう。なかなか堂々と嘘を言うのは、抵抗があるものです。

しかし、たいていこういった状態の方は、自分の世界を否定されることで不安感を増大させたり、混乱したりするものです。逆に、認知症の方の世界をしっかりと肯定してあげられれば、その方に安心感を与えることができるでしょう。

ここでは、俳優や女優になった気分、演じてみましょう。その際は、揺らいではいけません。不安感は相手に伝わります。「これはこの人にとっては真実なんだ。」と自分に言い聞かせて、どんな突拍子のないことでも、しっかりと言い切りましょう。

ニュアンスで会話をする

もっと認知症がすすんだ方の場合、そもそも会話自体が噛みあわないことが多々あります。何を言っているのか理解出来ず、何かを言っても全く通用しない。こんな時は、相手の感情をとらえるようにしましょう。怒っているのか、悲しいのか。尋ねているのか、伝えたいのか。そして、それに呼応するかたちで、相づちをうっていきましょう。

怒っているようなら、「あら～そうけ、大変やったね～」という表情を。何かを訴えているようなら、「うんうん、それはそうやね。」といったような、「雰囲気」に気を付けて会話をしてみましょう。内容を気にする必要はありません。大事なのは、「会話をしているような雰囲気」です。

これらの手法は、認知症の方に落ち着いて過ごしていただくために、施設で実際に行われているものです。認知症の方には、それぞれの世界があります。どんなに壊れているように見えても、それは、本人の人格に直結しているものです。大切なのは、その世界＝人格を否定してしまわない、ということです。

過去を知ることで出来ることがある

落ち着かず、歩き回る。家にいるのに、「家にいかんなん。」と言う。認知症における行動の中でも、非常に対応が難しい状態だと思います。会話で納得することは少なく、また、一時落ち着いたと思ったら、またすぐ「いかんなん。」と言われてうんざりとした気分になられたこともあるのではないのでしょうか。

まずは、「違うことに気分を導いていき、原因から気持ちを切り離して」みましょう。例えば、会話の内容を、その人の人生の楽しかった時期や、大変だった時期への質問を中心にするすることで、昔をなつかしむ気持ちへ導くことができます。前提として、その人がどんな人生を歩んできたかを知っておく必要がありますが、最終的にうまくその人生を肯定してあげることで（「大変でしたね。」「素晴らしいですね。」等）会話だけでも気持ちの切り替えが可能になります。

なにかを探しているようであれば、可能であればそのものを用意できればいいですが、それに替わるものを用意することでも対応することが出来ます。例えば、「子供を探している。」場合、人形などを持ってもらうことで落ち着かれることがあります。「洗濯物をたたまんなん。」なら、汚れてもいい古着やタオル等を提供してみましょう。本人が好きなもの(好きな事)を提供することで、気持ちを切り替えていただくことも有効です。

この場合も本人がどんな生活を送ってきたのか、を知っておくことが重要になりますが、たたみものなどの軽作業等、よくやっていた仕事(もしくはそれに代替えとなる仕事)をお願いすることは、施設でもよく行われている対応のひとつです。



豆よりをする利用者さん

2 一人で抱え込まない。

これは直接介護にあたる対応の面でも、後述する介護者の精神的な面でも、重要な事だといえます。

認知症における周辺症状にはさまざまなものがありますが、個人で対応できる場所は限られてきます。

会話にならない、どうやっても納得されない場合、結局は本人の行動を「見守る」しかありません。その場合、安全に見守る事の出来る環境を整備することが重要になってきますが、一緒について行動を見守ることが出来るのは、誰かの協力無しには成立しえない場合がほとんどです。

例えば、一緒に外を散歩する場合。(本人は家に帰るつもりだったりすることが多いですが。)

携帯電話などで、何かあったら迎えに来てくれる相手がいれば安心ですし、車椅子などを持ち出してこれれば、歩行に不安がある方でも対応しやすいでしょう。

男性の協力があれば、座りこんで動けなくなったりした場合の身体的介護がしやすくなります。

家族や、近所の方、居宅介護支援等のサービスへ相談し、協力を仰ぎましょう。施設でも、認知症介護は常に複数の職員で行われています。

第三者のほうがうまくいくことがある。

特に介護者が子や配偶者である場合、お互いが感情的になりやすく、介護抵抗など、スムーズに介護出来ない場面がでてきます。その場合は、他の親族や、公的サービスの利用等で第三者に介護してもらった方がスムーズにいく事があります。(特に男性にその傾向が強いようです。)

在宅で非常に手のかかる、と言われていた方が、施設では意外とおとなしい、というケースもあります。(勿論その逆もあります。)

介護は一人で言うよりも、公的サービスや、家族など、皆で支え合うほうがいいでしょう。

3 余裕をもつ。

認知症介護に関わらず、自分に余裕がなければ相手にやさしくすることは出来ません。

まず自分が第一であり、自分を大切にするようにしましょう。

「私ばかり……」や「私がやらなくては！」といった犠牲の精神にもとづく介護は、長く続かない事が多いと思います。

よく聞かれる相談が、

- 台所に入って調理をしようとする
- 洗濯物をたたもうと勝手に取り込んで汚してしまう
- 洗濯しようとして洗剤を沢山使う

……など、本人はよかれと思って(もしくは日課のつもりで)行うことが迷惑な結果になってしまうパターンです。

この場合、本人の行動を制限することが難しく、またお互い感情的になってしまい、本人も不穏になってしまうことが多いようです。

この場合、一番大事なのは「あきらめる」ことだと思います。

起こりうることを予想しておき、「ああ、やっぱりね。」と思えること。必要以上のストレスを溜めないように、自分で自分を守る必要があります。その為に、相談したり、話が出来た相手を作っておくことをおすすめします。介護者教室などで試みるのもいいでしょう。「わかるわかる、私もそうやわ〜。」などと共感できる仲間をもつことが大切です。何かが起こったときに、「今度話すネタができたわ。」と思えるくらいになれば大丈夫だと思います。



いかがだったでしょうか。認知症の方の介護は、そう簡単に答えの出ないことが多く、悩んでおられる方も多いと思います。

今回提示させていただいたポイントは、実際にやなせ苑で職員が介護をおこなう際に気をつけている事になります。もちろん専門的な事は他にも多くありますが、この3つのポイントはすべての基本になるものだと思います。

この特集が、みなさまの在宅介護へのよいヒントになれば、幸いです。

ホーム



いつもありがとう!

親子の光景



元気にしとるけ?

夫婦の光景



仲良しな2人♪

バレンタイン



人生相談、されてます。

初釜



定番の煮込みラーメンと日本酒で一杯。

忘年会



砺波ライオンズクラブさん主催によるもちつき。入所者さんも昔とったきねづか。見よ!この腰つき!!

クリスマス



かわいい?サンタさんが登場!

ショートステイ



やなせ苑
デイサービス



0~100歳までの人生すごろくを皆でしました。目指せ100歳!!

新年
お楽しみ
会



丑寅(北東)から鬼がやってきました。皆で、豆をまき、追い払います。「鬼は外~」

節分



太田幼稚園の園児達が音楽に合わせて踊りを披露してくれました。カッコよくポーズ決まりました。

敬老会

あの日
あの時

思い出アルバム

祝 やなせ苑20周年記念式

平成23年10月20日(木)



アトラクションは、
民遊会さんによる祝い唄づくし♪



記念誌と記念てぬぐい。施設紹介
パンフレットも新しくなりました。



ご利用ありがとうございます。
支援いただき感謝申し上げます。



ボランティアさん、ありがとうございます。
これからもよろしくお願いします!

庄東デイ サービス



「福は内、鬼は外」鬼たいじ!

初釜



男性職員の着物姿、どうでしょうか?

年忘れ会



腹話術に職員も挑戦!

年忘れ会



般若幼稚園の園児の皆さんに
エネルギーをもらいました。

育児も介護もお互い様

「子育てサポート企業」に認定されました。

やなせ苑では、次の時代を担う子供たちが健やかに生まれ、育成される環境の整備を目的とし、仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいます。その取り組みが評価され、昨年10月、厚生労働大臣から「子育てサポート企業」として認定を受けました。（県内では11社目）今後も、育児や介護を行いながらも安心して働ける職場を目指し、利用者の皆さんによりよい介護をご提供できるよう、取り組んでいきます。



「介護者教室」開催のご案内

やなせ苑在宅介護支援センターでは3回の介護者教室を計画しています。

介護者同士が交流し、仲間づくりとストレス発散をすることによって、前向きに介護に取り組むことができるよう、今年も介護者教室を開催します。

内容は、ミニ講座、ゲーム、座談会を計画しています。みなさん、お気軽にご参加ください。

場所 子供歌舞伎曳山会館
(ゆめっこホール)

時間 13時30分～15時30分

講座内容

- 6月8日(金)
脱水に要注意 工夫しよう水分補給
- 10月5日(金)
食欲の秋 我が家で美味しく介護食
- 12月7日(金)
学ぼう 認知症の種類と症状

相談・申込み先 **在宅介護支援センター**
☎32-3050

受賞おめでとうございませう

平成23年度砺波市福祉健康大会

《ボランティアの部(個人)》

西田政子さん

入所者の理髪ボランティア 平成13年4月～現在

10年以上の永きにわたり、当苑の入所者の理髪を、月2回行っていたいでいます。

第48回富山県親切・善行感謝の集い

《一般部門 個人の部》

吉田万里子さん

入所者による俳句会での指導 平成9年2月～現在

15年以上の永きにわたり、毎月1回の俳句会で指導をしていただいています。

永い間、途切れることなく入所者を思いやり、生きがいを導き、支えてくださった西田さん、吉田さんに改めて感謝し、お祝い申し上げます。

ボランティアさん募集!

個人ボランティア

- ・玉のれん制作のお手伝い
- ・趣味活動の指導、お手伝い
(編み物、折り紙、パッチワークなど)
- ・書道、絵画の指導
- ・将棋の相手・話し相手
- ・送迎車のタイヤ交換

グループボランティア

- ・シーツ交換、外出介助、清掃
- ・音楽活動や手品など
- ・勇気を出して二歩踏み出して!
- ・ご連絡お待ちしております。

☎32-3050

担当森まで



感謝申しあげます

〈願不負〉

たくさんの寄付をいただき、まことにありがとうございます。

- | | | | | | |
|--------|---------|-----------|-------------|----------|-------------|
| 宮脇 毅様 | 手作りかご多数 | 西田 れい子様 | タオル大六枚、小十六枚 | 渡邊 清様 | 三万円 |
| 宮脇 ふみ様 | | 岡田 園亜様 | 九万九百円 | 井上 房子様 | ちぎり絵 |
| 大橋 毅様 | | 匿名様 | 十万円 | 廣島 眞郎様 | 五十万円 |
| | | 砺波市赤十字奉仕団 | 古代餅 | 水上 和興様 | 五十万円 |
| | | 平木 幹夫様 | 二十万円 | 澤村 勝平様 | 大豆十五kg |
| | | 青山 政雄様 | もち米百二十kg | 砺波北部小学校様 | 大根等野菜 |
| | | 瀨尾正勝・百合子様 | お雛様とお供え物 | 林公民館様 | 大根等野菜 |
| | | 高瀬神社様 | | 五島書店様 | 大根等野菜 |
| | | 十二野 秋子様 | | 福寿箸八十膳 | バッグ・ポーチ計二十点 |
| | | | | 一万円 | |



訂正とお詫び

本誌No.34号2ページ「やなせ苑まつり」の記事中に誤りがありました。「おきらく座さん」と陽だまりの会さんの写真のコメントが逆に表記されていました。お詫び申し上げます。

編集後記

無事にやなせの森No.35号を発行することができました。今回は、苑内でインフルエンザが流行し、非常に慌ただしい中での作業になりました。健康である日常がいかに貴重なものであるかを再認識するとともに、感染対策の難しさと重要性を実感しております。この経験を無駄にすることなく、皆様が安心して暮らせるやなせ苑をつくっていきたいと思います。